

鳥類

No

1

	生物名	カルガモ
	分類	脊索動物門鳥綱 カモ目カモ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	グループで行動することが多いです。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No

2

	生物名	アオサギ
	分類	脊索動物門鳥綱 コウノトリ目サギ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	潮彩の渚でみることができる1番大きな鳥です。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No

3

	生物名	カワウ
	分類	脊索動物門鳥綱 ペリカン目ウ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	潜水して、魚類を捕獲します。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No

4

	生物名	セグロカモメ
	分類	脊索動物門鳥綱 チドリ目カモメ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	くちばしが黄色です。
	備考	冬鳥。

No 5

	生物名	ハクセキレイ
	分類	脊索動物門鳥綱 スズメ目セキレイ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	顔が白く、ムクドリより小さめです
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 6

	生物名	メリケンキアシシギ
	分類	脊索動物門鳥綱 チドリ目シギ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	くちばしが黒く足が黄色です。
	備考	繁殖地と越冬地を往復する途中、一時期姿を見せる鳥(旅鳥)です。

No 7

	生物名	ツグミ
	分類	脊索動物門鳥綱 スズメ目ヒタキ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	干潟でなくても、芝生、農耕地、河川敷などの開けた地上で良く見かけます。
	備考	冬鳥。

No 8

	生物名	スズガモ
	分類	脊索動物門鳥綱 カモ目カモ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	アサリを始めとする貝類を捕食します。
	備考	冬鳥。

No 9

	生物名	クサシギ
	分類	脊索動物門鳥綱 チドリ目シギ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	体の上面は黒褐色です。単独で行動することが多いです。
	備考	繁殖地と越冬地を往復する途中、一時期姿を見せる鳥(旅鳥)です。

No 10

	生物名	セグロセキレイ
	分類	脊索動物門鳥綱 スズメ目セキレイ科
	発見頻度	★☆☆☆☆
	職員のコメント	頭から肩、背にかけて濃い黒色です。ハクセキレイよりも水辺が大好き。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 11

	生物名	コアジサシ
	分類	脊索動物門鳥綱 チドリ目カモメ科
	発見頻度	★★☆☆☆
	職員のコメント	くちばしが黄色でまっすぐです。
	備考	夏鳥。

No 12

	生物名	ウミネコ
	分類	脊索動物門鳥綱 チドリ目カモメ科
	発見頻度	★★★☆☆
	職員のコメント	鳴き声が本当にネコに似ています。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 13

	生物名	コサギ
	分類	脊索動物門鳥綱 コウノトリ目サギ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	全身の羽毛が真っ白です。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 14

	生物名	ハシブトガラス
	分類	脊索動物門鳥綱 スズメ目カラス科
	発見頻度	★★★★★
	職員のコメント	頭の非常にいい鳥です。全国の海岸から山地にまで広く棲み、都市部での生息数を増やしています。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 15

	生物名	イソヒヨドリ
	分類	脊索動物門鳥綱 スズメ目ヒタキ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	足が全体に黒いです。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 16

	生物名	ユリカモメ
	分類	脊索動物門鳥綱 チドリ目カモメ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	くちばしが朱色で尾の先が黒いのが特徴的です。
	備考	冬鳥。

No 17

	生物名	ムクドリ
	分類	脊索動物門鳥綱 スズメ目ムクドリ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	額と顔は白く、くちばしはオレンジ色です。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 18

	生物名	キジバト
	分類	脊索動物門鳥綱 ハト目ハト科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	キジバトは茶色がかった羽を持ちます。早朝によく鳴いている鳥です。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 19

	生物名	キンクロハジロ
	分類	脊索動物門鳥綱 カモ目カモ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	オスには後頭部に垂れ下がった冠羽があり、脇から腹にかけて白色、それ以外は黒色です。
	備考	冬鳥。

No 20

	生物名	ホシハジロ
	分類	脊索動物門鳥綱 カモ目カモ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	オスは灰色と黒の体に赤い目と赤栗色の頭が特徴的。
	備考	冬鳥。

No 21

	生物名	キアシシギ
	分類	脊索動物門鳥綱 チドリ目シギ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	体の上面が灰褐色で眉斑、頬、体の下面は白色。名前の通り脚が黄色いです。
	備考	繁殖地と越冬地を往復する途中、一時期姿を見せる鳥(旅鳥)です。

No 22

	生物名	オオバン
	分類	脊索動物門鳥綱 ツル目クイナ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	額からくちばしにかけてのみ白い。各趾(脚指)そのものに水掻きがついています。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 23

	生物名	イソシギ
	分類	脊索動物門鳥綱 チドリ目シギ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	下面は白い羽毛で覆われ、胸部側面に羽角にかけて白い切れ込みがあります。
	備考	一年中同じ場所に生息している鳥です。

No 24

	生物名	カイツブリ
	分類	脊索動物門鳥綱 カイツブリ目カイツブリ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	夏羽では首は赤茶色、冬羽では黄茶色です。
	備考	日本国内の山地で子供を産み、平地で冬を越す鳥(漂鳥)です。

No

25

	生物名	カンムリカイツブリ
	分類	脊索動物門鳥綱 カイツブリ目カイツブリ科
	発見頻度	★★★★☆
	職員のコメント	日本では少数で、カイツブリ目のなかでは最大種です。
	備考	冬鳥。